



# 札幌の冬の魅力を子どもたちに届けましょう! 雪学習NEWS

札幌市内小学校教諭向け

雪学習NEWSでは、札幌市の小学校教諭に、札幌の冬についての話題や知識などを、冬のシーズンを中心に、定期的にお届けします。

平成28年3月から発行している「雪学習ニュース」も今号で「50号」になります！令和6年に50号を迎えたということで「50」「6」＝「こ・お・る」にかけ、昨年「流水」取材した札幌雪学習プロジェクトの「氷班」が、北海道の「氷の世界」を特集します。

ジュエリーアイス

## 海に輝く氷の宝石「Jewelry Ice」

十勝の豊頃町大津海岸にこの時期に現れる宝石のような氷を知っていますか？この美しい氷は「ジュエリーアイス」と呼ばれているのです。

なぜ、こんな美しい氷が?!…というわけで、大津海岸まで調査に行ってきました！

ジュエリーアイスについて、説明していただいたのは、十勝豊頃町役場企画課長補佐の越後秀顕さんです。

ジュエリーアイスはどこでも見られるわけではありません。この現象は大津海岸のすぐそばを流れる十勝川の一部が凍結し、その氷が潮の満ち引きによって海へ運ばれ、波にもまれ、角が丸くなり、砂浜に打ち上げられた氷だそうです。塩分のない川の水が透き通った綺麗な水になり、日差しによって、彩りをかえるジュエリーアイスになります。

もちろんこの現象は最近のものではなく、昔から冬になると砂浜に打ち上げられていた氷です。以前は船を出すときの邪魔になっており「邪魔な氷」と呼ばれていたそうです。しかし、この氷の美しさに魅了された写真家：浦島久さんが「ジュエリーアイス」と名付け、2016年にメディアに取り上げられたことをきっかけに有名になったそうです。

越後さんは、「もっとたくさんの人に見てほしい。そのために施設の整備を強化したり、地域みんなで盛り上げていきたい」と現在、様々な企画を考えているそうです。「邪魔者だった氷が、地域を支える宝石になるなんて嬉しいですよ」と話す越後さん。これからの発展が楽しみです。ジュエリーアイスの見頃は1月下旬から3月上旬の早朝か夕方です。ぜひ、みなさんも見に行ってみては？



十勝豊頃町役場 企画課長補佐  
越後 秀顕 さん



ジュエリーアイスが漂着するイメージ



## 銀の湖上に現れる氷の村「然別湖コタン」

みなさんは、冬になると凍る湖があることを知っていますか？それが、鹿追町にある「然別湖」です。そこにこの時期出現する幻の村「然別湖コタン」について紹介します。

然別湖は、12月の半ばから凍り始め、「全面結氷」する希少な湖です。その氷は4月まで解けることはありません。どうして然別湖は凍るのか。然別湖ネイチャーセンターネイチャーガイドの谷澤智樹さんにお話を伺いました。その秘密は、然別湖の地形にありました。然別湖は、標高804mと北海道で最も標高が高く、周りを山に囲まれているため冷気がたまりやすく、厳冬期には-30℃以下になることもあります。なんと、12月から2月は、南極・昭和基地より寒いのです。そのため、冬になると湖一面が凍るといわけです。この寒さを「生かす」発想で、氷の村「然別湖コタン」が誕生しました。コタンの建物はすべて、透明度の高い然別湖の氷と雪で作られています。氷で作ったグラスでドリンクを楽しむ「アイスパー」、結婚式を挙げることができる「アイスチャペル」、脱衣所も雪と氷でできた大自然の中のお風呂「氷上露天風呂」など、ここでしか体験できないものがたくさんあります。みなさんも凍った湖の上を歩いてみませんか？



▲然別湖コタンの全景  
◀アイスチャペル



然別湖ネイチャーセンター  
ネイチャーガイド 谷澤 智樹 さん

【取材・原稿執筆】長谷川 美雪 教諭(札幌市立緑丘小学校)、福本 勇太 教諭(札幌市立福移学園)、朝倉 一民 教頭(札幌市立登寒南小学校)

※このニュースレターは、札幌らしい特色ある学校教育「雪」学習の活性化を願い、教師向け参考資料として発行しています。

## ここでしか食べられない?!

## 星野リゾート

## トナム・アイスヴィレッジ!



おいしそう!

このラーメン、普通のラーメンではないのです。わかりますか?

正解は「氷のラーメン」なんです。氷の器に冷たい麺。スープまで冷たくシャリシャリとした氷の食感が味わえる『寒さを楽しむラーメン』なんです!冷たい食感としょっぱさが絡み合い、クセになる味でした。

ではどうしてトナムでは「氷のラーメン」を提供しているのでしょうか?「星野リゾート トナム」の渡辺巖さんにお伺いしました!

「最低気温がマイナス30℃にも達するトナムだからこそ、寒さを楽しむ体験をしてほしいという想いからスタートしたのがアイスヴィレッジです。1998年にスタートして以降毎年、氷の楽器や氷のパン屋、氷のスイーツショップなどさまざまな寒さを楽しむ体験を提案し続けています。現在では毎年世界中からおおよそ7万人の人たちが訪れ、トナムの寒さを体感されています。これからたくさんの『寒さ』を提供していきたいです!」と渡辺さん。



星野リゾート 総支配人  
渡辺 巖 さん



氷の滑り台



氷のセイコーマーケット



氷のシアター



氷のホテル



あなたなら、どれを体験してみたいですか? その理由も教えて下さいね!

(それぞれの写真を提示して、共通するものは何かを考えたり、トナムがどんな場所にあるか予想するのもいいですね)

【取材・原稿執筆】谷藤 歩 教諭(札幌市立富丘小学校)、朝倉 一民 教頭(札幌市立発寒南小学校)

## Q 除雪って、昔はどうしていたの? その②

A 1946年(昭和21年)に機械による除雪がはじまりました!

終戦を迎え、1946年(昭和21年)にアメリカ軍からブルドーザーなどの除雪機械を借りて、初めて機械による除雪が行われました。

その後、1967年(昭和42年)に除雪作業が見直され、除雪車を大幅に増強したほか、除雪ステーションを各区に設けるなど、きめ細かい除雪体制が整えられ、現在のような除雪になってきました。

昭和21年  
当時の  
ブルドーザー



このニュースレターや冬や雪に関する指導案等は札幌市役所HPから、ダウンロード可能です。

【ホームページ】<https://www.city.sapporo.jp/kensetsu/yuki/yukigakushu/>

校務・教育系システムのポータルサイトからも閲覧可能!

【発行・お問合せ】札幌雪学習プロジェクト事務局(札幌市建設局雪対策室事業課) TEL:011-211-2662 FAX: 011-218-5141

雪に関する写真や動画等、いろいろあります!

札幌雪学習 検索

雪学習  
HPは  
こちら

